

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 4 月 15 日

事業所名 運動療育センターキートス・プラス

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0	プラスは体育館もあるため2グループに分けるなどの取り組みをしている。	
	2 職員の配置数は適切である	4	0	0	事前に「今日誰が何をやるから抜ける」などの打ち合わせができています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	2		今の所問題ないが、児童入口は段差あり。強いて言うなら若干マットが浮いている部分がありそこに足を引っ掛けてしまうこともある。 →設備修正を各事業所で行えるよう段取りを行います
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	0	・スタッフの意見をいつも聞いてくださるのがとても嬉しいです ・週次のミーティング・隔週の研修などで確認する機会多い。日々の朝礼でもPDCAサイクルを回せていると感じる。 ・定期的な研修などでもあがってくるためできていると思う。	・意識して実行している職員とそうでない職員とがいるので、全員が共通認識をもつことが必要だと思う。 →研修の時間を使って認識の統一を図る機会を増やしていきます
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2	0	運動のメニューやイベントなど、子どもたちが自ら来なくなる取り組みを実施。	してくださっていると思うが私が把握できていないためどちらとも言えない。 保護者アンケートの存在自体を知らない職員がいたため、周知する必要がある。 →研修の時間を使って認識の統一を図る機会を増やしていきます
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	0		私は今回が初めての実施になるのでわからない。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	0	よく評価をしていただけていると話は聞く。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	・毎月隔週で研修を実施。 ・月に2回の全体研修を実施してくださっている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	保護者とのヒアリングなど定期的実施してくだっている。 保護者のニーズなど共有する時間が研修や話し合いできちんと確保できていると思う。	
適切な 否	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	0	活用していると思う。	児発管の裁量が大きく、標準化されたツールとは言いえない。 →全職員が把握できるツールに改変していきます
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	0	・AT,PT,運動インストラクター,保育士がいることが心強いです、また利用する子どもによってメニュー・活動グループを組むようにして工夫されていると感じます ・利用者と出勤スタッフに応じたメニュー作成を理学療法士を中心として決定している ・何をやるかなど事前に話し合いできている。 ・PT、インストラクターが中心となり活動を考えられている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0	・子どものやりたいこと・こちらの行ってほしい活動どちらも取り入れられていると思います ・子ども達の希望する運動だけに偏らないようにメニューを構成。 ・新しいものはどんどん提案するようにできている。 ・児童の希望を聞くと固定化しがちだが、スタッフが企画した活動プログラムを退去しようという意識はみられる。	

支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	・希望のお休みを頂き感謝しています！ ・長期休みなどは子供達に課題を与えるなど考えくださっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	当日の子供の状況などに合わせて変えられている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	0	・グループ分け・活動メニュー 最近気になる様子など共有出来ていると思います ・打ち合わせるが、詳細まで詰めなくても今は個人の能力高く、阿吽の呼吸で出来ている。 ・忘れていると声掛けをしてくれるなど助けてくださっている。	・共有の時間は充分に取れているが、意識が強いスタッフが不在のときに確認する認識が足りないスタッフもいる。 →属人的にならないように物理的にコミュニケーション取りやすい環境を作っていきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	1	・緊急なこと以外は次の日の朝礼で出来ていると思います ・週に一度しっかりと振り返りの時間を設けてくださっていて、当日には作業をしながらでも共有するようにしている。	・送迎スタッフは戻ってからの時間がなく、すぐ退社してしまう為、当日に共有する時間は無い。 ・終礼、あるいは週終わりに共有の時間を設けられたらいいと思う。 →当日中に共有できるよう送迎業務等の時間調整を行います
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	毎日の活動日誌を残している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	してくださっている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	1	0	・変更点などその都度伝えてくださるのでしっかりできていると思う。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0	管理者が参加してくだっている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	0	0	LINEも活用しながら行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4	0	とってくださっていると思う。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	0	・3月で初めてプラス卒業の子が出るので今時点ではどちらともいえません ・該当する利用者なしの為、どちらでもないにつけています	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	3		・コロナ禍の為、現在は該当なし。今後、どのような形で実施していけるか検討必要。 ・今後よりできるようにしていきたいと思う ・公園へのおでかけは企画しているが、上記のような機会という位置付けではない。 →今後は地域交流の機会を設ける方向で進めています
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	3	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	・送迎時や連絡帳などでその日の様子・気になったこと（体調面なども）お伝えしています ・その都度お話ができていると思う。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	1			

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	0		細かく伝えて下っていると思う。 全員が同じだけの認識はもっていないのが現状。 →研修の時間を使って認識の統一を図る機会を増やしていきます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	2		・今の所、保護者同士が交流する機会は見つれていない。 →今後は保護者交流の機会を設ける方向で進めています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	0	今のところ苦情がないと思います	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	2	0		
	35	個人情報に十分注意している	5	1	0	・しっかりと意識を持って取り組んでいると思う	取り扱い方には各々留意しているが、個人情報のキャビネットが無施錠なのは気になります。 退社時、退社時施錠→キーボックスに鍵を入れるが→キーボックスも施錠が良さそう。 退社時チェックリスト作成し確実に施錠がされたことを確認できる仕組みを取り入れます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	しっかりと意識を持って取り組んでいると思う	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3	3		・コロナ禍もあり、オープンには出来ていない。 ・今後していけるようにしたい →今後は地域交流の機会を設ける方向で進めています
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	0	研修でも取り上げるなど意識を持って取り組んでいる	スタッフには共有されているが、保護者には共有されているか自分自身が確認していない。 →研修の時間を使って認識の統一を図る機会を増やしていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	定期的に避難訓練などを実施して下さっている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	気になる事があればスタッフ同士でコミュニケーションを取れている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	0	スタッフ全員が細心の気を配り気をつけている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	0	研修などでも取り上げてくださるなど、認識する場を作ってください。	作成した後の共有はされていない。 →事例を確実に記録して残す仕組みを取り入れます